

次期「させほっ子未来プラン」の策定に係るアンケート調査票の意見聴取について(集約後)

〇子ども・子育て会議当日(R6.2.26)、委員から頂いたアンケート調査票に関するご意見

意見箇所	ページ番号	意見内容	反映箇所	ページ番号	佐世保市としての考え方
1 全般		父親の子育てへの参画がよくないと感じている。ワークライフバランスの推進という観点が必要。	問34 問34-1 問34-2	19	国のこども未来戦略の「加速化プラン」における「共働き・子育ての推進」を踏まえて、設問項目を追加しました。
2 全般		子育て当事者だけでなく、一般企業等に対する意識を問うような設問が必要。			次期プランにおいて、国のこども未来戦略の「加速化プラン」における「意識改革」の要素も踏まえて、今後検討してまいります。
3 問24	12	「就学後の放課後の過ごし方」の選択肢の一つに「放課後等デイサービス」などの施設を増やす必要があるのでは。	問24	12	「障がい児童通所施設(放課後等デイサービス)」の項目を追加しました。
4 全般		「食事」が十分にできていない子ども・家庭のことをよく耳にするため、「食」に関する環境についての設問を加えてほしい。	問33	19	選択肢に「子どもに対する食事の提供」を追加しました。 また今後、他の調査において設問項目として取り入れることができないか検討いたします。
5 全般		計画の中に貧困に関する具体策が見えにくい。貧困に関する設問が必要。	問33	19	選択肢に「子どもに対する食事の提供」を追加しました。 また、長崎県が実施している「子どもの生活に関する実態調査」の結果を分析するとともに、今後実施予定の調査において設問項目として取り入れることができないか検討いたします。
6 問24	12～13	0歳～5歳児の保護者に就学後の放課後の過ごし方を聴く必要があるのか。			5歳児の保護者であれば次のことを考えられていると思うので、属性の設問を踏まえた中でのニーズ調査の分析は出来ると考えております。

〇子ども・子育て会議後、委員から頂いたご意見

意見箇所	ページ番号	意見内容	反映箇所	ページ番号	佐世保市としての考え方
1 全般		今後のスケジュールの関係で、アンケートの発送が3月中であることは理解できるが、年度末の慌ただしく、家庭によっては変化が大きい時期にアンケート票を受け取った際に、拒否や後回しになる等のリスクがあり、結果的に回収率が下がる懸念がある。回答期間を短めてでも、新年度になった4月の発送が得策ではないか。			次期プラン策定に係るスケジュールがかなりタイトな状態となっているため、アンケート調査以降の策定スケジュールへの影響を勘案し、3月末に発送、4月の中旬ごろまでの期間での回答をお願いする予定です。 また、回収率の向上に向けた取組として、今回からWebを介したオンラインでの回答も採用し対応を進めたいと考えております。
2 全般		今後の作業を進めていく参考や指標として、佐世保市と人口や予算規模が同規模で、更に先駆的な取り組みをしている自治体のプラン等の資料を取り寄せ、提示していただければ効果的だと思われる。			今後も、佐世保市と同規模(中核市など)の自治体、県内各市町の実施状況の確認、情報交換等を行いながら、次期プランの策定を進めてまいります。
3 全般		【アンケートの取り方について】 アンケートの取り方を昨年と同じ方法ではなく、例えば「今回は、保育所・幼稚園の園児を対象」等、いろいろな方法を考えていく必要があるのでは？ 郵送となると経費も掛かるし、郵便局に返答を持参するの面倒ではないか？ 保育所等には、お手数をかけることとなりますが、保育所経由だと、回収率も数段に上がると思います。			今回のアンケート調査の実施方法としては、住民基本台帳から対象者を無作為に抽出して調査票を郵送いたします。また、回収方法としては紙(返信用封筒を同封)又はWebによる方法を予定しております。 今後、実施を検討する各種調査等の中で、保育所や幼稚園などの施設に協力をお願いする場合もありますので適宜対応してまいります。
4 問13	7	居住地域の行事や子ども会行事に参加する機会があるのか等、地域の方々との関わり方が判るような質問も入れてほしい。			問29「地域の人たちとのつながりが強い」及び問30「地域の人たちとのつながりが薄い」の項目により、アンケート調査対象の方の地域とのつながりについて、把握ができると考えております。 その上で、他の調査においてご意見いただいた内容を設問項目として反映することができないか検討いたします。
5 問35	20	アンケートの設問についての意見ではありませんが、問35の「佐世保市が行っている子ども・子育てに関する取組」を見て、詳しく内容を知りたいと思う人もいます。ここに書いてある取組についての情報が得られる方法(リンクを張るとか連絡先を記載するとか)を提示してあげたら、助かる人もいますし、「認知度」も上がると思います。	表紙	-	市民の方が最初に目する表紙に佐世保市の子育てに関する情報発信サービスのQRコード欄を設けました。 ・佐世保市子育てポータルサイト ・子育て情報サイト「すくすくSASEBO」 ・子育て応援アプリ「させほっ子ナビ」
6 全般		ひとり親家庭とふたり親家庭では利用希望や置かれている状況が異なると思う。そのため、ひとり親家庭に関する設問をいくつか加えても良いのではないかと。			アンケート調査票の間6において「配偶者の有無」の設問があるため、全体から「配偶者なし」と回答された方を抽出することにより、ひとり親が置かれている子育て支援サービスの利用状況や利用希望等を把握・比較し、分析に繋げることができると考えております。
7 問25-2 ①	15	回答2.3「配偶者や家族の要望(1.)or 希望(2.)があったため」とありますが、「家族」が具体的に誰を想定しているのか書いた方がよいのではないのでしょうか。回答者によって「家族」の範囲が異なるかと。また「配偶者の要望 or 希望があった」と回答したい人と「家族の要望 or 希望があった」(家族が子どもの祖父母を想定した場合など)と回答したい人は原理的には異なるため、分けた方が適切な項目になるかと思えます。	問25-2①	15	「配偶者」と「家族」の選択肢を分けました。 また、「家族」については、より具体的にするため「祖父母や親類」という表現に修正しました。 ※問25-1が追加になったため、反映箇所を「問25-2①」と修正しています。
8 問24	12	会議当日に意見があったように、「放課後等デイサービス」の選択肢があったほうが良いと思う。	問24	12	「障がい児童通所施設(放課後等デイサービス)」の項目を追加しました。
9 問25-1	14	子育て世帯に対するアンケートなので、子育て世帯のうち育休を取得した人だけでなく、育休を取りたくても取れなかった方々の希望日数も含めて把握し、指標の一部にすべきだと思います。	問25-1	14	育児休業を取得していない方に対して、取得できたとした場合の希望期間に関する項目を追加しました。
10 全般		アンケートを送付した家庭のうち約50%が回答したとのことでしたが、どこかの年代に偏ることなくデータが取れているのでしょうか。			今回の調査では、0歳～5歳の子どもを持つ保護者を対象として継続的に定点観測を行っているため、回答いただく方の「年代」という視点での整理は行っておりませんが、今後実施する他の調査において、回答者の世代を選択項目として取り入れ、調査を行うよう検討いたします。